

名古屋外国語大学アクティビティ指針

2022. 3. 22

- ・行政機関（国もしくは愛知県）の新型コロナウイルス対策に対して、その要請に適切に対応するため、名古屋外国語大学のアクティビティ指針を定める。
- ・レベル決定の判断は、名古屋外国語大学新型コロナウイルス対策本部において行うものとし、行政機関からの要請内容及び学内外の感染状況等を踏まえて、適宜、見直す。

I レベル

レベル	判断の目安 (1項目でも当てはまる場合に適用)
レベル0 (平常時)	地域社会において感染の危険性はほとんどない
レベル1 (注意)	地域社会において感染の危険性は少ない
レベル2 (警戒)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会において感染の危険性が高まっている ・学内において散発的に感染者が発生しているが、大学の活動全体への影響までには至らない ・国もしくは自治体が感染防止措置を発令し、大学に対して感染防止対策の一層の強化を求めている
レベル3 (高度警戒)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会において感染者の急増傾向がみられる ・学内において感染者の急増傾向がみられ、早急に効果的な感染拡大防止措置を講じる必要がある ・国もしくは自治体が感染防止措置を発令し、大学に対して感染防止対策の一層の強化を求めている
レベル4 (非常事態)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会において感染者が急拡大している ・学内において感染者が急拡大し、抜本的な感染遮断措置を講じる必要がある ・緊急事態宣言などにより、国もしくは自治体から休業要請がある

2022年3月22日以降のレベル	色のついたレベル
------------------	----------

II アクティビティ

レベル	活動			事務職員・ 助手の業務	会議・出張	学生の入構	イベント (シンポジウム・学会等)	来訪者の入構
	教育(講義・授業)	教員・研究活動	課外活動					
レベル0 (平常時)	通常通り	通常通り	通常通り	通常通り	通常通り	通常通り	通常通り	通常通り
レベル1 (注意)	感染防止対策の上、対面授業を実施 ・一部オンライン授業(20%程度以内) ・教室定員(50%程度以内(一部授業除く))	感染防止対策の上、ほぼ通常の 教育・研究活動を行う	・感染防止対策の上、活動 を行う ・詳細は「課外活動ガイド ライン」による	・感染防止対策の上、ほぼ 通常の勤務体制 ・一部在宅勤務も可 (上長の指示)	・対面会議は感染防止 対策を講じて実施 ・オンライン会議を推奨 ・感染拡大地域への出張 は自粛(校務出張除く)	不必要な登校を控える	・感染防止対策の上、対面 イベント実施可 ・オンライン(ハイフ レックス含む)を推奨	不要不急の入構 は自粛願う
レベル2 (警戒)	感染防止対策の上、対面授業とオンライン授 業を併用実施(ハイフレックス含む) ・オンライン授業(50%程度以内) ・教室定員(50%程度以内(一部授業除く))	・授業のための入構可 ・在宅での研究活動を推奨	・感染防止対策の上、一部 の活動のみ可 ・詳細は「課外活動ガイド ライン」による	・感染防止対策の上、通常 勤務と在宅勤務を併用 (上長の指示) ・時差通勤の推奨	・原則、オンライン会議 ・対面会議は限定実施 ・出張は自粛(校務出張 除く)	次の場合に入構可 ・対面授業 ・その他事前に許可がある場合 (オンライン受講、各種手続 検定試験、学生相談、図書 館利用、健康診断など)	・イベントはオンライン (ハイフレックス含む) を推奨	不要不急の入構 は自粛願う
レベル3 (高度警戒)	主としてオンライン授業を実施 ・オンライン授業(80%程度以上) ・対面授業が必要な授業は限定的に実施	・授業のための入構可 ・在宅での研究活動を推奨	原則、活動不可 (大学が特別に許可する 場合を除く)	・感染防止対策の上、通常 勤務と在宅勤務を併用 (上長の指示) ・時差通勤の推奨	・原則、オンライン会議 ・対面会議は限定実施 ・出張は不可(校務出張 除く)	次の場合に入構可 ・対面授業 ・その他事前に許可がある場合 (オンライン受講、各種手続 検定試験、学生相談、図書 館利用、健康診断など)	・イベントはオンラインで 実施	不要不急の入構 は自粛願う
レベル4 (非常事態)	オンライン授業のみ実施	原則、入構不可 ・在宅での教育・研究活動	全面的活動禁止	・大学機能の維持のために 最小限必要な職員に限定 して出勤 ・その他の職員は在宅勤務	・オンライン会議 ・出張は不可(校務出張 含む)	原則、入構禁止	イベントは不可	原則、入構禁止